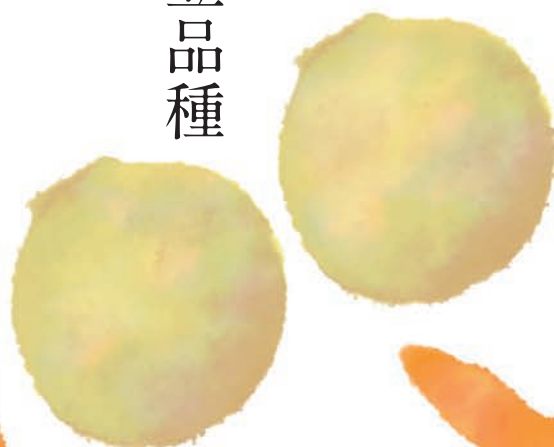




ウイルス病に強く莢が弾けにくい
温暖地向け大豆品種



はれ
づる

ケガレ（病害等）をうち払い、
晴れ晴れ（ハレ）とした心で
栽培・収穫できる品種となるように
「はれごころ」と名付けました。



はれ ごころ Check ポイント

1 ウイルス病に強いです。
ウイルスが原因の減収や
褐斑粒の発生を抑えることができます。

ダイズモザイク
ウイルスE系統

ラッカセイ
わい化ウイルス

インゲンマメ南部
モザイクウイルス



サチユタカ はれごころ サチユタカ はれごころ サチユタカ はれごころ

— ウイルス病抵抗性 —

2 成熟しても莢が弾けにくいです。
自然に莢が弾けて
種子がこぼれることによる減収を
抑えることができます。



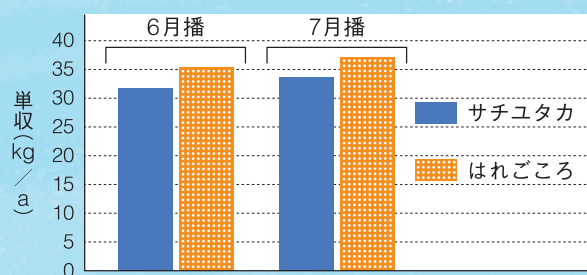
サチユタカ



はれごころ

— 莢の弾けやすさの違い —

3 「サチユタカ」と比べて
収量が約1割多いです。



— 「はれごころ」の収量 —

※育成地における試験成績

4 「サチユタカ」と比べて、
子実の皮が裂ける「裂皮」が少なく、
種子の外観品質が優れています。

5 豆腐や納豆の
加工に向いています。



「はれごころ」の詳しい情報については、
QRコードからご参照ください。



プレスリリース：(研究成果)

ウイルス病に強い温暖地向け大豆育種品種「はれごころ」

問い合わせ先



農研機構

農研機構 西日本農業研究センター

〒721-8514 広島県福山市西深津町6-12-1

TEL 084-923-4100(代表)

FAX 084-924-7893

西日本農研

